



ILC  
Round Table Meeting  
talk

## 世界の高齢者の プロダクティブ・エイジング

ILC-Japanは、平成24年度研究事業として「プロダクティブ・エイジングと健康増進に関する国際比較調査研究事業」(厚生労働省老人保健健康増進等事業)を実施するとともに、国際比較を通して日本型プロダクティブ・エイジングとは何かについても模索してきた。

本ミーティングでは、第1部においてイギリスよりバロネス・サリー・グリーングロス女史(ILCグローバル・アライアンス共同理事長/ILC-UK理事長)を招聘し、イギリスを中心とした先進国の動きについて概説していただいた。併せて本研究の中間報告を行った。続く第2部では、プロダクティブ・エイジングに関わるさまざまな分野の専門家による活発なディスカッションを展開した。

ここでは、第1部の中間報告と第2部のディスカッションの概要およびミーティングの最後に採択された東京ステートメントを紹介する。

日時 2013年2月8日(金) 14時00分～16時30分

場所 庭のホテル東京 「燦の間」

プログラム 第1部 超高齢社会におけるプロダクティブ・エイジング  
鈴木隆雄(司会)

世界及び英国における「プロダクティブ・エイジング」の現状と今後の方向性

バロネス・サリー・グリーングロス

全員参加・生涯参加を目指して  
セカンドライフの就労プロジェクト

秋山弘子

国際比較調査報告 各国の「プロダクティブ・エイジング」  
渡邊大輔

第2部 参加者によるディスカッション  
超高齢社会、総力戦で真に明るい長寿社会の実現を  
プロダクティブ・エイジング 東京ステートメントの採択



■ **ラウンドテーブルミーティング参加者** 敬称略・50音順・役職は当時

**バロネス・サリー・グリーンダロス**  
ILC-UK理事長、英国上院議員

**秋山弘子**  
東京大学高齢社会総合研究機構特任教授

**磯部文雄**  
福祉未来研究所代表、城西国際大学福祉総合学部長

**大津和夫**  
読売新聞記者

**岡本多喜子**  
明治学院大学教授

**小川 誠**  
厚生労働省職業安定局 高齢・障害者雇用対策部長

**小田嶋 文彦**  
味の素(株)健康ケア事業本部理事

**金井 司**  
三井住友信託銀行(株)経営企画部CSR担当部長

**金平輝子**  
元東京都副知事、日本司法支援センター(法テラス)元理事長

**河村博江**  
一般財団法人長寿社会開発センター 理事長

**木村利人**  
早稲田大学名誉教授、恵泉女学園大学 前学長

**澤岡詩野**  
公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員

**杉澤秀博**  
桜美林大学大学院教授

**鈴木隆雄**  
国立長寿医療研究センター 研究所長

**袖井孝子**  
お茶の水女子大学名誉教授

**中島 民恵子**  
医療経済研究機構主任研究員

**林 俊宏**  
厚生労働省老健局総務課企画官

**原 勝則**  
厚生労働省老健局長

**樋口恵子**  
高齢社会をよくする女性の会理事長  
高齢社会NGO連携協議会共同代表

**藤田綾子**  
甲子園大学心理学部長

**堀田 力**  
公益財団法人さわやか福祉財団理事長  
高齢社会NGO連携協議会共同代表

**水田邦雄**  
ILC-Japan代表  
シルバーサービス振興会理事長

**皆川 鞠一**  
元共同通信記者  
北欧社会研究所 代表

**宮島俊彦**  
三井住友海上火災保険(株)顧問

**森岡茂夫**  
ILCグローバル・アライアンス名誉理事長、ILC-Japan顧問  
山之内製薬(現アステラス製薬)(株)元会長

**山崎史郎**  
内閣府 共生社会政策担当 政策統括官

**渡邊大輔**  
成蹊大学アジア太平洋研究センター 客員研究員

**アラン・グリーンダロス**  
オブザーバー

talk